

神森男子、宮城女子V

ハンドボール県小学生大会

ハンドボールの第12回沖縄県小学生大会兼第34回全縄フラント工業杯争奪第39回小学生大会県予選が10

宮城―神森 ディフェンスをかわし、シュートを決める宮城の島尻三千夏＝11日、豊見城市民体育館（又吉康秀撮影）



11の両日、豊見城市民体育館で行われた。男子決勝は神森が21―13で当山を破り優勝した。女子決勝は宮城が15―13で神森に競り勝ち、頂点に立った。優勝チームは全国大会（7月29日～8月1日・京都）に派遣される。男子は1回戦で富山代表、女子は千葉代表と対戦する。

神森	21	10	11	15	16	17	24
当山	13	11	12	13	14	15	17
神森	15	16	17	18	19	20	21
宮城	15	16	17	18	19	20	21

堅守で接戦制す宮城

ヒロイン

女子決勝で接戦をものにしたのは宮城だった。身長167センチの島尻三千夏（みしか ちか）主将を中心に攻守を組み合わせ、神森はとも強かったが、勝って監督やコーチに恩返しをしたかったと優勝の瞬間はチームみんなで歓喜した。前半は速攻を持ち味とする神森に翻弄（ほんろう）されたが、後半は島尻を中心に守備で粘り、失点を抑えて封じた。攻めでは横美星空（てせら）が個人技を絡めて得点を重ねた。石川奈南もゴールに走り込みながらパスを受け、確実に得点を決めた。前半に得点源となった島尻はマークが厳しくなるとパスを散らし、的を絞らせなかった。宮城亮平監督は「低学年

堅守速攻の神森 全国切符つかむ

〇：男子は堅守速攻を掲げる神森が全国切符を手にした。左ウイングの内閣想太が速攻で力を発揮した。自陣からのロングパスを走り込みながら器用に受け取り、得意のステップシュートで得点を量産。「力を入れ過ぎると枠に入らないので力



神森―当山 ボールを奪い、速攻を仕掛ける神森の波平大芽（4）



優勝した神森小ハンドボール部



優勝した宮城小ハンドボール部